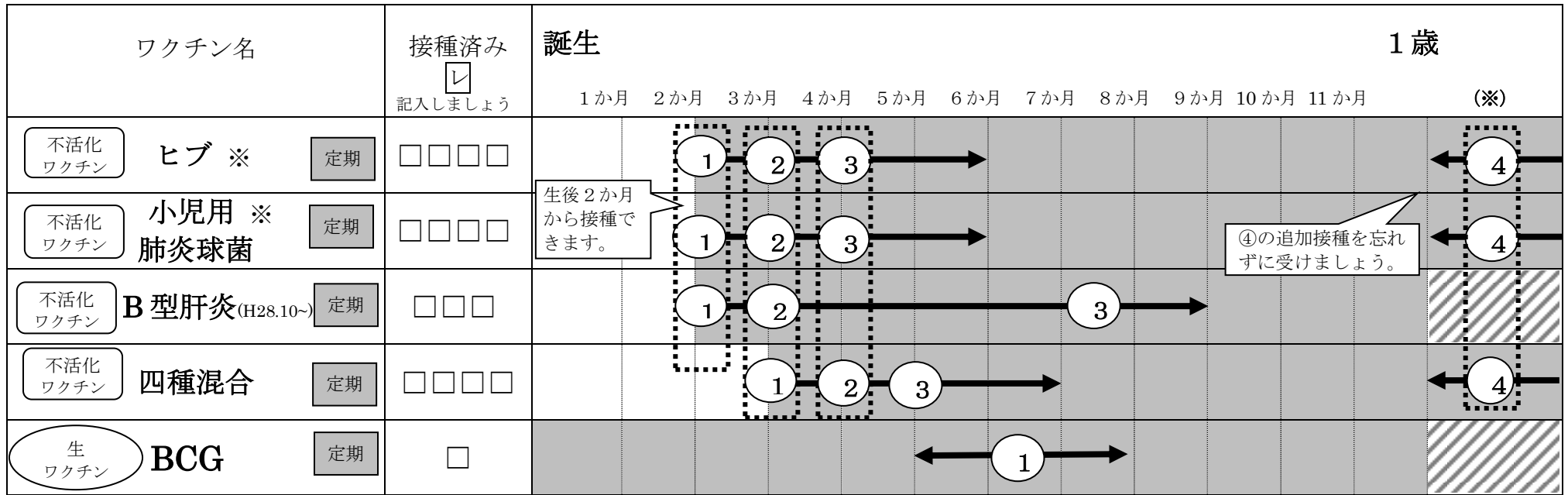


# ワクチンデビューは、生後2か月の誕生日

## 0歳の予防接種スケジュール

0歳の赤ちゃんをワクチンで防げる病気から守るためには、生後2か月になったらできるだけ早くワクチンを受けることが大切です。ワクチンの種類、接種回数が多いので、かかりつけの医師と相談のうえ、計画的に接種しましょう。



### 【予防接種の接種間隔】

次にほかの種類のワクチンが接種できるのは、不活化ワクチン接種後は1週間後の同じ曜日から、生ワクチン接種後は4週間後の同じ曜日からです。

- 同時接種 同時に複数のワクチンを接種することができます。詳しくはかかりつけの医師にご相談ください。
- おすすめの接種時期 (数字は接種回数)
- 定期接種の対象年齢
- 任意接種の接種できる年齢

### 【接種回数と間隔】

ワクチン名	初回接種	追加接種
ヒブ	27～56日の間隔をおいて3回	3回目接種後、7～13か月の間隔をおいて1回
小児用肺炎球菌	27日以上の間隔をおいて3回	3回目接種後、60日以上の間隔をおいて1回(標準:1歳～1歳3か月)
B型肝炎	27日以上の間隔をおいて2回	1回目接種後、139日以上の間隔をおいて1回
四種混合	20～56日の間隔をおいて3回	3回目接種後、6か月以上の間隔をおいて1回(標準:1年～1年半の間)

(※) 1歳になったらできるだけ早めに麻しん風しん混合ワクチンと水痘ワクチンを受けましょう。

### ●BCG接種 集団接種(会場:保健福祉センター)

お子様の接種日 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日 ( ) 受付 11:15～11:45

※BCG以外の予防接種は、医療機関での個別接種になります。

※ヒブ・肺炎球菌は初回接種年齢により接種回数が異なります。(上記は生後2か月から7か月未満で接種を開始した場合の回数です。)